

西宮市民意識調査の結果

市では、毎年市民意識調査を実施し、みなさまの声を市政に反映するように努めています。

このたび、18歳以上の方から無作為に選んだ3,500人を対象に、昨年9月に調査を行った結果がまとまりました。

今回は、「自転車利用環境の改善」、「公民館地域学習推進員会講座」、「消費生活に関する意識・行動」、「男女共同参画に関する意識」、「多文化共生」の5つのテーマについておうかがいしました。

ご回答いただきましたみなさまには、厚くお礼申し上げます。

※有効回収率：51.1%

- 性別 ●男性：38.5% ●女性：57.2%
- 年代別 ●10歳代：1.7% ●20歳代：5.3%
- 30歳代：11.5% ●40歳代：18.1%
- 50歳代：19.4% ●60歳代：16.5%
- 70歳代：18.0% ●80歳以上：9.2%

なお、市民意識調査結果報告書は、市民相談課、情報公開課、各支所、サービスセンター、アクタ西宮ステーション、各公民館、図書館（中央・北口・鳴尾・北部・山口分室）で閲覧ができます。

また、市のホームページ（市政情報→広報・広聴→市民意識調査）にも掲載しています。

●各選択肢の構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

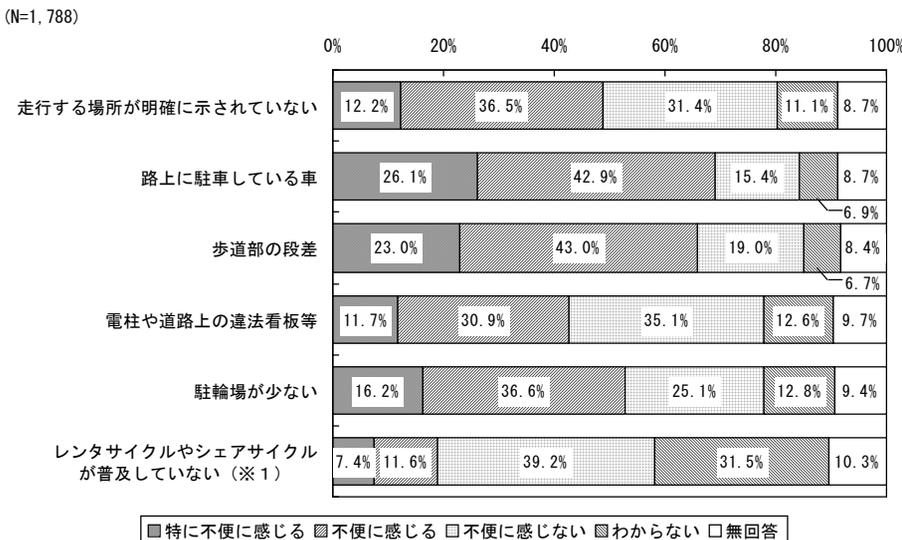
自転車利用環境の改善について

西宮市では、安全・安心で快適な自転車利用環境を整備するため、自転車走行空間の整備や交通ルールを学ぶ自転車安全教室の開催などに取り組んでいます。

市民のみなさまの自転車利用環境の状況をおうかがいし、今後の施策推進に役立てたいと考えています。

問. 自転車の利用環境に関して、自転車に乗るときに不便に感じている（感じるであろう）ことはどのようなことですか。

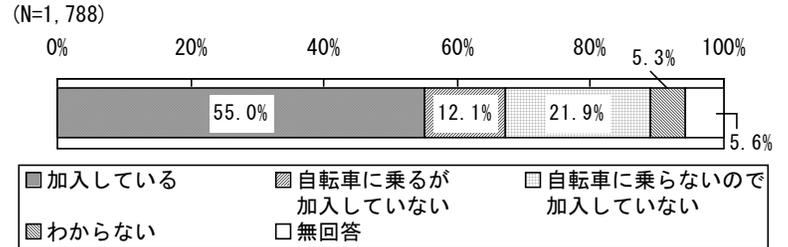
「特に不便を感じる」の割合は、〈路上に駐車している車〉（26.1%）で最も多く、次いで〈歩道部の段差〉（23.0%）、〈駐輪場が少ない〉（16.2%）となっています。



（※1）シェアサイクル：まちの中に設置された複数のサイクルポート（無人の自転車貸出・返却拠点）から、必要な時に自転車を借り、都合の良いサイクルポートへ返却できる新たな交通サービス

問. あなたが自転車で加害者となる事故を起こした場合の賠償に備えた保険又は共済に加入していますか。

「加入している」が55.0%、「自転車に乗るが加入していない」が12.1%となっています。



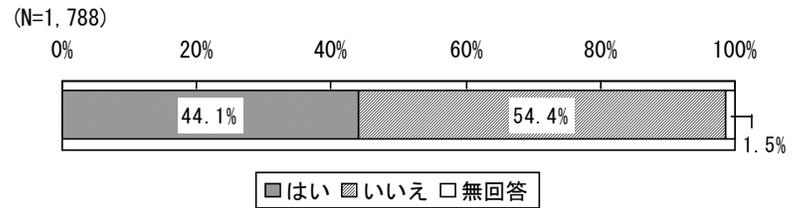
公民館地域学習推進員会講座について

公民館では市民が直接、地域の課題解決や地域力の向上などを図ることを目的として昭和52年（1977年）に公民館地域学習推進員会制度を制定しました。

市内にある24公民館それぞれの地域から市民が選考され、公民館地域学習推進員会として講座などの企画・運営をしていますが、地域内において十分に周知がされていません。広く市民のみなさまにご意見をうかがい、今後の公民館地域学習推進員会事業に役立てたいと考えています。

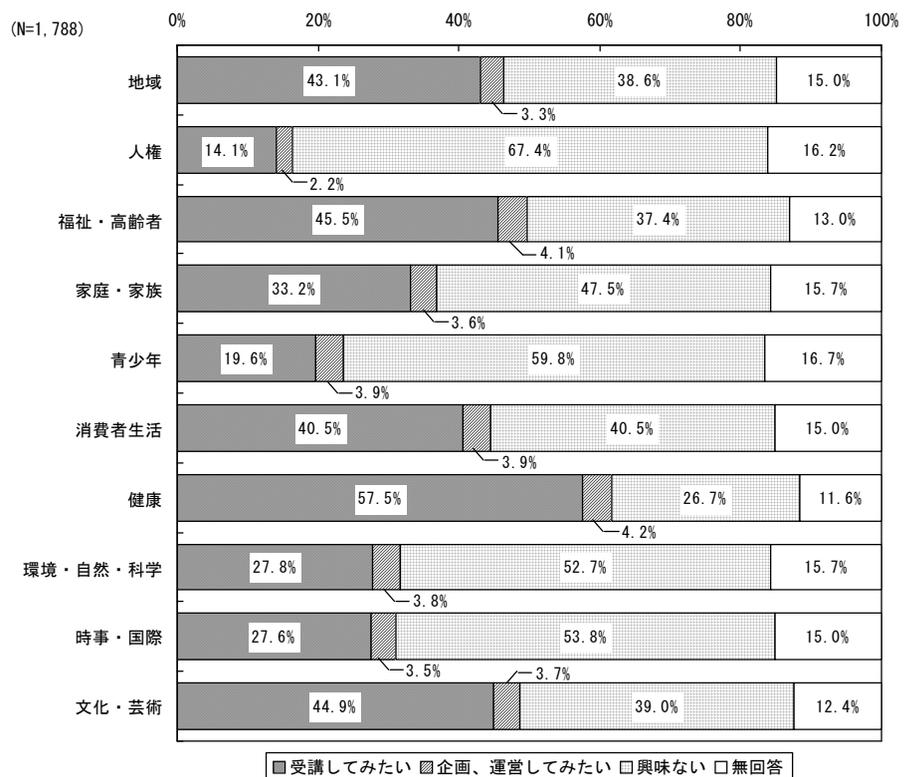
問. あなたは公民館を利用したことがありますか。

利用経験のある人が44.1%となっています。



問. 各地域の公民館では、次のような分野の催しや講座を行っています。あなたは、各分野について、興味がありますか。

「受講してみたい」の割合は、〈健康〉（57.5%）で最も多く、次いで〈福祉・高齢者〉（45.5%）、〈文化・芸術〉（44.9%）となっています。



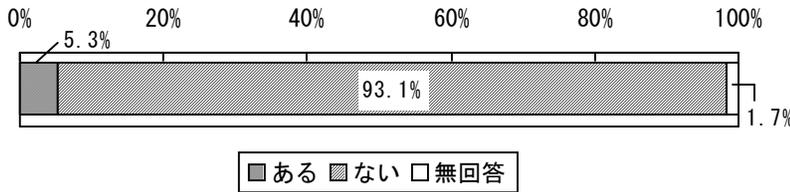
消費生活に関する意識・行動について

インターネットやスマートフォンの普及などにより、私たちの生活は便利になった反面、そういったものを利用した犯罪による被害やトラブルも多様化しています。市では、消費者の日常の消費生活における意識や行動、消費者トラブルの経験等、みなさまの消費生活に関する意識や行動を調査し、今後の消費者教育推進に役立てたいと考えています。

問. あなたは、過去3年間に、購入した商品や利用したサービスまたは架空請求等により被害を受けるなど、消費者トラブルにあったことがありますか。

過去3年間での消費者トラブルの経験のある人が5.3%となっています。

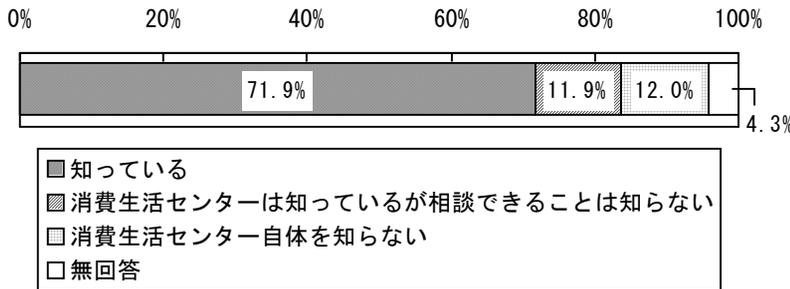
(N=1,788)



問. 消費生活センターで消費者トラブルについて相談できることを知っていますか。

消費生活センターで消費者トラブルについて相談できることを知っている人が71.9%、「消費生活センター自体を知らない」が12.0%となっています。

(N=1,788)



男女共同参画に関する意識について

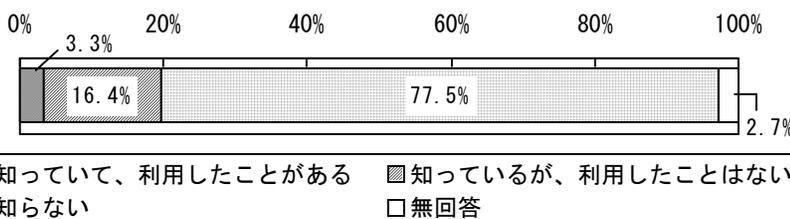
西宮市では、男女共同参画プランに基づき、「誰もが性別にとらわれることなく、互いに尊重し合い、一人ひとりの力を活かすことのできる社会の実現」を目指し取り組みを進めています。

みなさまの「男女共同参画」に関する意識やご意見をうかがい、今後の事業実施に役立てたいと考えています。

問. 西宮市に男女共同参画センターウェブがあることを知っていますか。

「知っている、利用したことがある」が3.3%、「知っているが、利用したことはない」が16.4%、「知らない」が77.5%となっています。

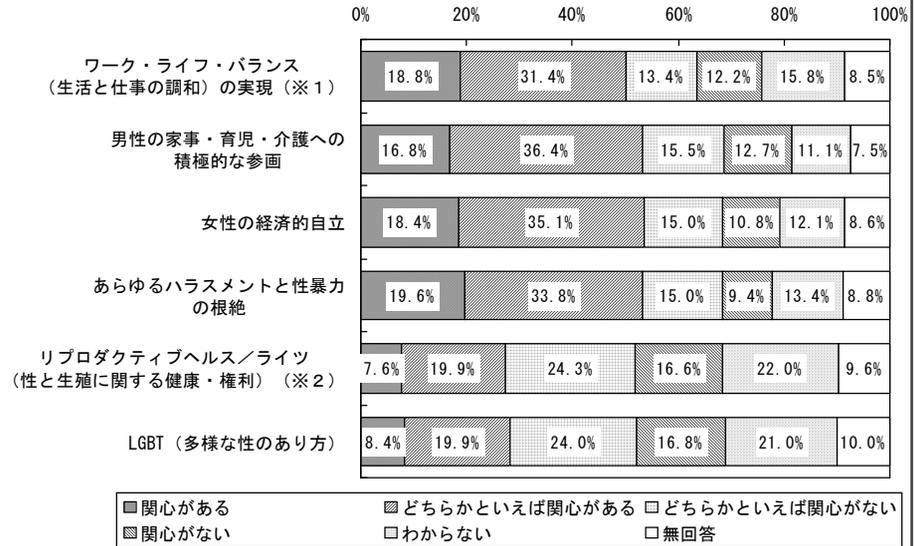
(N=1,788)



問. 男女共同参画において、どの分野に関心がありますか。

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計の割合は、〈女性の経済的自立〉、〈あらゆるハラスメントと性暴力の根絶〉、〈男性の家事・育児・介護への積極的な参画〉、〈ワーク・ライフ・バランスの実現〉が、いずれも5割強となっています。

(N=1,788)



- (※1) ワーク・ライフ・バランス：誰もが仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について、自らが希望するバランスで展開できること
- (※2) リプロダクティブヘルス/ライツ：女性が生涯にわたり、身体的・精神的・社会的に良好な状態であり、子どもを産むかどうか、いつ産むかなどについて選択し、自ら決定する権利のこと

多文化共生について

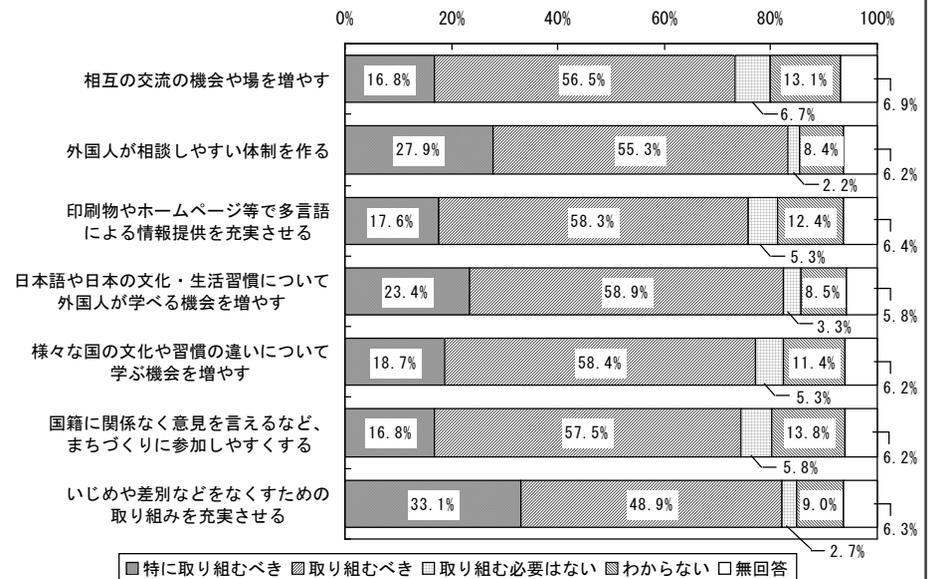
多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと（総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より）」です。

外国人労働者の受け入れ拡大に向けた法律が施行される等、社会情勢が大きく変化する中で、外国人と日本人がともに、国籍や言語、文化の違いを尊重しながら、安心して暮らせるまちづくりの検討が必要となっています。

問. 国籍や言語、文化の違いに関係なく、皆が安心して暮らせるまちづくりに向けて、市が取り組むべきことは何だと思えますか。

「特に取り組むべき」の割合は、〈いじめや差別などをなくするための取り組みを充実させる〉(33.1%)で最も多く、次いで〈外国人が相談しやすい体制を作る〉(27.9%)となっています。

(N=1,788)



市民意識調査の結果に関するお問い合わせは、
西宮市 政策局 市長室 市民相談課
(Tel : 0798-35-3100) まで